

救助隊

消防士長 高口 工

私は幼いときから漠然と消防士に憧れを抱いていました。しかし、そのことをいつの間にか忘れ、企業に就職しました。そんなある日、9.11アメリカ同時多発テロの特番で、みんなが逃げ惑うなか、果敢に現場へ向かい懸命に救助活動を行っていた消防士の姿に感銘を受け、幼いときの夢を思い出しました。これを契機に私も地元で勇敢な消防士になりたい、人の命を助けられる人になりたいと思い、消防士を目指しました。現在、救助隊の隊員として、火災現場のみならず交通事故、水難事故、機械事故などあらゆる災害へ出動し、人命救助活動を行っています。私たちが出動する災害では、全く同じ災害はありません。しかし、その現場に対応する為に、あらゆる災害に対応する為に、多種多様な災害を想定し訓練を行っています。夏場の火災ではとても暑く、冬場の水難事故ではとても寒い思いなどしますが、私たちが救助しなければ誰も助けられません。私たちは、最後の砦として、そのことを念頭におきながら毎日訓練を行っています。しかし、いつもきついことや苦しいことばかりではありません。救助した方から「無事退院しました」と報告にこられたときは、救助隊として活動できたことに非常に喜びを感じますし、救助後の達成感は、とても強いものがあります。

これから消防士を目指してみたいと思っている人がいればぜひ柳川市消防本部へトライしてみてください。100人未満の小さな消防本部ですが、現在では若手職員も多く大変活気に溢れています。また、先輩や上司など、とても気さくな方が多く、プライベートの相談にもよく乗ってくれる大変頼りになる先輩が多い職場です。こんな職場で安全で安心できる柳川市を、熱い気持ちを持って一緒に作って行きましょう。